

第40回奈良県中和病診連携の会報告

日時 : 平成29年 7月15日(土) 14時30分～17時00分
場所 : 大和高田市立病院 放射線治療棟3F 大会議室
参加者数 : 医師 48名 / 院内職員(医師以外) 14名
地域スタッフ(訪問看護・施設) 13名 / 合計 75名

<内容>

まず、大和高田市医師会長 中谷 晃 先生より開会のお言葉をいただきました。

【Session 1】

土庫病院 大辻 俊雄医師による「当院におけるがん化学療法患者の看取りの場と連携先についての検討」では、自宅看取りの関連因子について、診療所圏外在住・介護者・訪問診療や訪問看護の利用・介護保険認定については「有り」が優位であると発表されました。

次に、中井記念病院 河端 悠介医師より「腹腔鏡下胆摘後のクリップ迷入により胆管炎を来した1例」は珍しい症例の動画を用い、クリップの迷入の様子や原因について発表されました。

最後に、当院外科 西村 公男医師より「鼠径ヘルニアに対する腹腔鏡下手術の実際」においては、絶対的なOP適応として、女性は全員・男性は生活に支障のある方であることや再発の原因についての質疑応答がありました。

【Session 2】

奈良県立医科大学 地域医療学講座 赤井 靖宏教授より

『非腎臓専門医に役立つ腎疾患診療のポイント

～「腎臓はようわからん」という先生もこれでバッチリ！～』

についてご講演を頂きました。

CKD(慢性腎臓病)は、末期まで症状がなく、検尿・血液検査でしか診断できない。罹患すると治らないが、早期に発見し治療を行うことで進行を抑える事が可能な疾患であることを教えて頂きました。また、重症度分類や最良の治療方法、危険因子、GFRでの腎機能の評価、予防(腎保護(糸球体保護)・減塩・飲水)等々非常に解りやすく講演頂き、終了後も活発な質疑応答が行われました。



今回は第40回記念大会の為、会終了後に情報交換会を開催しました。

多数ご参加頂き和やかな雰囲気の中、積極的な情報交換が行われました。

今後もこの会を継続する中で、奈良県中和の病診連携を推進していきたいと思っております。

お忙しい中、多数のご参加有り難うございました。



次回、41回目の開催は今年度としておりますが、日程は調整中です。